



大和中ロータリークラブ会報

TAKE TIME TO SERVE

時間を捧げよう 奉仕のために
1980-81 R.I 会長 ロルフ・J. クラリッヒ

第 114 回 例会 55 年 9 月 25 日 (木) くもり時々雨 第120号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
32名	30名	93.75%	96.88%
欠席者 高山, 竹之内			

亀谷会長テーマ 全人類に愛と善意を

司会 SAA 北砂 富三君

ソングリーダー 中西 功君「それでこそロータリー」

ゲ ス ト

合田良徳氏 (新会員候補)

ビ ジ タ ー

藪内宏雄君, 村田幸大君 (大和), 松村剛男君,
日野原征夫君 (座間)

会 長 報 告

- 今日は設営に趣向を凝らして、おにぎりの食事でしたが日本人にはピッタリで結構だと思えます。SAA 北砂さん有難うございました。
- 来る10月1日よりドルの交換レートが1米ドル230円が217円に変更になります。その結果ポールハリスフェローは217,000円に、準フェローは21,700円となりますので、近い内に財団委員長長の布施さんからお願すると思えますが、御協力をお願い致します。
- 本日申込の方に「フェーストロタリアン」の本は各人任意に申込んで下さい。259地区は何ら関知しておりませんとの改めてガバナーよりの通知がありましたのでご報告します。

幹 事 報 告

- 80-81年度の会員名簿の訂正変更が来ておりますので、一人一枚宛お取り下さい。
- 明後日27日から地区大会が開催されますが、登録時間等間違のないようご注意ください。尚第二日目11.00よりの職業別協議会出席者は、お忘れなきように、当日はよろしくお願します。

委 員 会 報 告

ロータリー情報委員会 伊藤 (英) 委員長

先日のソフトボール大会は、多数の方の参加をいただき盛大に行われました。ありがとうございました。又夜の定住センターの方々を迎えて炉辺会合も大勢参加下さいまして、活発な意見も出て非常に有意義な一夜であったと思えます。次の勉強会は芦田先生宅で10月8日行われます。是非多数の方の出席をお待ちしています。

本日のプログラム 10月2日

「米山記念奨学会について」 中西 功君

次週予定 10月5日(10月9日振替休会)

家族会 (ワイン工場見学とブードー狩り)

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

事務所 : 大和中央1-5-40
及び 大和市商工会館内
例会場 電話0462(63)7926

例会日 : 毎週木曜日12時30分より

会長 : 亀谷 志郎 副会長 : 伊藤 正男

幹事 : 富沢 重徳 会報委員 : 有沢・長谷川・藤田

プログラム委員会 郡司委員長

プログラムの変更について、活動計画書の24頁10月16日と23日の内容が入れ代り、10月16日の卓話は大和学園常務理事榎本久一氏のお話しをお伺いします。

親睦委員会 鈴木委員長

1.10月5日の家族会の会費を古木会員まで納入して下さい。

2.お祝の方はお二人です。

御夫人お誕生日 伊藤正男君星子夫人
(9月25日)

御夫人お誕生日 郡司 守君禎子夫人
(9月26日)

卓話

家族の絆

長谷川清一君

はじめに：昭和30年の中頃から40年代の中頃までの約10年間に行なわれた、一連の高度成長政策がもたらせた功罪のうち、罪の現われと思われる核家族化現象の原因の一端について、日頃私の考えていることをお話ししてみたいと思います。当時国の政策は所得倍増を至上として、都市集中化が進められたわけです。そこで私共は、地方の若い労働力を確保するために、南に北にと、各県の職業安定所を歩くとともに、中学校等をも歴訪したり、若い就業可能人口の調査と、就職の集団化に奔走して参りました。ところがその結果はどうなったのでしょうか、それは日本古来の家制度をも根底から解体の方向に走らせてしまったのではなかったかと、煩悶している次第です。労働力の都市集中化が高度成長期に於ける課題であったとしても、その結果が今日の核家族化志向への誘因となっていたことを思うとき失いつつあるものが余りにも大きいことに驚いております。当時この施策にかかわって来たものの一人として、誠に慙愧に堪えません。家族というもの：一人の母親がこんなことを呟いた。「子供達が元気にトンボを追いかけ、楽しそうに野花を摘んでいる。そんな光景を眺めていると、親は心楽しくほんとうに幸せ

を感じる。」と、それでいてどこかひそかに退屈を感じる。家族というものはそんなものなんだろうか、家族内にはこんな退屈と安心が共存しているものなんでしょう。家族の誰れかが退屈したら出て行けばいいのだし、また、出て行った先で疲れたら戻ってればいい。家族というのは、すべての人が帰る所でしょう。このように家族の機能に正常な働きがあるところには悲劇は生れ得ないものだという。しかし、私共の廻りには、この悲劇が余りにも多いのは、どうしたことなのでしょう。心に生きる家：核家族化が進む今日、日本人は家というものの存在には否定的なんだろうかと思つくと、必ずしもそうではないようなんです。お盆の時期に郷里に帰省する1千万人もの人の大移動をみても納得できるころでしょう。極めて家志向的な面があるわけです。瀬戸内の或る過疎の島では、お盆には人口が急増して、島の老人達は口々に「島が沈みそうだ、島が沈む。」と言って若者達の帰省に浮かれ喜ぶといひます。

でもそれも束の間で数日のうちには又、家々の灯は消えて、島は元の静けさに戻ってしまうといひます。村を棄てることといひ、核家族化といひ、確かに日本人の家に対する観念は薄らいで来てはいるものの心の中には依然として、家は生き続けていると理解すれば、お盆の大移動も納得がいくわけです。高度成長経済は、交通、通信を発達させ人々の移動を容易にして、雇用や教育の場を広げた都市が地方の人口を吸収して、家の解体を早める条件だけが積み上げられてしまったのでは無かったか。高度成長経済の脈絡の典型を住宅政策にみる事が出来ると思います。都市に集中した人口は、小空間に詰まなければならなかったでしょう。2DKの公団住宅や、二部屋の民間アパートに、人々は近代化という麗句に目かくしされてしまつて、家族構成の分解に拍車がかかることなど少しも気付かなかつたと思います。

行政による代役：そして分解してしまつた結果、家では果せなくなった役割の代役を行政の場に持ち込むようになったわけで、老人の問題、老人医療の問題、定年後の問題、年金の問題、少年非行

の問題も、かつては家族が抱えていた課題が、社会に投げ出されるようになったわけです。だから行政需要は増え続けるばかりです。家族が解体するということは、分解することによってその質も著しく変化を伴う。核家族化ということは、多様で多質な家族を発生させる結果となり、行政に対しての需要も量的に広がるのは当然のことで、行政需要の質の面でも複雑化することはさげられなくなるでしょう。一方家族を取り巻く社会の状況は、家族の機能を高めるようには動いていないし、家族の要求と社会体制の不備とがからみ合って混乱を一層加速させるのではないかと思います。例えば、英国では伯父、伯母という存在は日常的に強く意識されています。日本の場合、親類の意識が薄くなり、家族を単位に限定して孤立性を高める傾向にあるという意見も聞かれる。そして家族は、ただ単なるもたれ合いの集団となりつつあるというのが、日本の家族の特色であるとの批判もある。**軸の腐敗**：日本の家族の現況は世代をつなぐ軸が喪失しているのではないのでしょうか。親と子供はお互いの行動に気を付け合うこともしない、家族内にあっても、老人もおり、中年もおり、青年も少年もいて、家庭的なのが、これが世代の縦軸なんです。核化の進んでいく家族にはこうした世代軸が何もないし、そこには老人の知恵もなく、すべて自分の手であみ出して行かねばならないが、そうするには余りにも自分が無力であることを知らなければならぬ。毎日ベッタリとくっついてばかりいると親と子の心の絆も腐ってくる。離れているから家族の絆も活きるのだが絆が腐っては家族は崩壊するのではないかと思います。

先週の出来事

親睦ソフトボール大会行われる！

9月20日（土）午后秋空の下、ユニホームを着た人あり、トレーニングウェアの人あり、想い想いのスタイルで、車体工業グラウンドに勢揃い、総勢21名。AB2組に分かれて早速試合開始。何しろ始めてソフトボールをする人もおり、勿論ルー

ルなど知る由もなく、しかしファイト満々で楽しい時を過しました。したがって伊藤（正）会員のごとく、年を忘れてのフェアプレーがあるかと思へば、外野への飛球はトンネル、みんなホームランになるような珍プレーも続出、第1回目は21対13の大差で終了した。2回戦はメンバーチェンジでプレーボール。生れて始めてピッチャーをする選手？もいたが、調子も出て来たところ雨！5対6の接戦でワールドゲームとなった。体のあちこちが痛んで普段の運動不足を切実に感じた人は誰れ？とにかく楽しいひと時でした。次回も是非という声もしきり、楽しみにしています。

炉辺会合報告

ソフトボールのあとの夜7.30より寺田土木に於て炉辺会合が開かれた。これには大和定住センターの内藤所長をふくめ5名の方々のご出席もあり、自己紹介にはじまりベトナム語の話など和気藹々の中に時を過し、其の後会員による討論が行われましたが、詳細は後日会報上に発表致します。

中国への旅

土屋 翁三会員

私は中国軽工業品進出口会社の招聘状により浙江省杭州市で開催された「中国草柳藤竹編織品交易会」に参加するため中国を訪問しました。過去2回観光として訪中した経験がありますが、今回はある商社の方との個人的訪中でしたので過去に経験することができなかったいろいろな勉強ができて有意義な中国の旅でした。

9月7日（日）羽田→大阪経由上海へ入境、翌8日午前列車にて杭州市へ到着、午後から交易会へ参加しました。会場は杭州工業展覽館という大きな建物、客はほとんどが日本の商社マンですが、今年は冷夏のため昨年程のにぎわいは無いそうで、開期後半のためか閑散としていました。私はその日だけ参加し、翌9日は杭州市遊覧をすることにしました。通訳の方と二人で朝からタクシーに乗り、杭州遊覧。団体行動と違い自由にのんびりと参観でき、午後は有名な西湖湖上遊覧としゃれ込んだのですが、曇天だったのが残念でした。

10日に上海へ戻り一泊、11日にいよいよ留学生家族の待つ北京へと旅立ちました。新築された北京空港は成田空港には及びませんが、仲々立派な設備を備えており、以前とは見違える程でした。

早速留学生趙南元君の家へ電話、我々のホテルが友誼賓館である旨連絡、ホテルでお会いすることを約束。午後4時少し前ホテル着、正門で沈静珠さんの夫君湯学忠氏、趙君の妻君趙樹青さんのお二人に面会、部屋へ案内し、北京での日程その他打ち合せ、日本での留学生活ぶりを報告。湯氏は日本留学が決まっております現在待機中。日本語も上手に話され、私の北京帯在中の通訳として大変お世話になりました。

14日(日)は北京から来られている留学生5名の家族全員と北京市内遊覧を企画されており、朝8時30分ホテル正門前に家族を乗せたバスが到着、それぞれの奥さん、子供さんの紹介、中には目に涙を浮かべしっかりと手を握り熱列観迎して下さる方もいて、中国語が出来ない自分が恨めしく思われ、北京からの留学生はほぼ私と同年代の方です。子供達も私の子供くらいの年代、北海公園を散歩し乍ら、日本に居る様な錯覚をし、思わず日本語で語りかけてしまいました。

私が今回訪中した目的の一つは、留学生ご家族の様子を写真と8ミリで撮って来ることでした。北海公園、景山公園と遊覧、清華大学で昼食をいただき、趙さんの家を訪問、お母さん、姉妹ご一家、そして他のご家族、それぞれの家族に分れ、十分に撮影、やはり慣れないせいかカメラの前に立つと余り喋ってくれません。子供の中には「お父さんに何か言いなさい」と言ったとたん泣きだしてしまい、ちょっと悲しい雰囲気になりました。

未だ未だ文化生活が望めない中国、近代化に向かって猛進中、そんな中であってやはり留学生のご家庭は中流以上、子供達も皆優秀で名門校へ通っている。私はこうした民間の交流が多くなればなるほど中国の発展は早くなるだろう、そして現在中国が求めているものは西欧の文化、技術でなく日本の経済政策と科学技術であることを感じまし

た。最後に留学生のご家族からの「帰国されたら大和のお世話になっている方々にくれぐれもよろしくお伝え下さい。との伝言をお伝えして……。

スマイルボックス

座間RC 松村会員 お世話になります。

大和RC 村田会員 このところ、毎回お世話になります。よろしく願います。

大和RC 藪内会員 しばらく振りでお伺いしました、どうぞよろしく願います。

亀谷会長 私の病院の開院式の模様を写真入りで会報に掲載していただき、光栄に存じます。会員の皆様方のご好意と有沢先生に感謝。

富沢幹事 9月20日のソフトボール大会には、伊藤正男、伊藤英夫会員に御尽力を載せ、又、夜の炉辺会合には、寺田、鈴木、伊藤英夫会員にお骨折りを載せて、両方共楽しく有意義に開催できましたことに、心より感謝致します。なお、今後も協力の程を。

伊藤(正)会員 家内の誕生日を祝っていたゞきまことに有難うございました。

郡司会員 家内の誕生日祝い有難うございます。正直なところ、女房は誕生日がくるのが、こわいのでは?年を聞かないでやって下さい。

土屋会員 父が喜寿、母が古稀、そして金婚だそう、先日兄弟が集まり、ささやかな祝賀会を行ないました。私も、父の年位まで長生き出来ればいいなアーと思っています。父も、母もほんとうにうれしそうでした。

伊藤(英)会員 先日のソフトボール大会には、多数の方の参加を得、皆様のハッスルプレーにはおどろきました。炉辺会合にも多数の方々のご出席を有難うご座いました。

辻 会員 ボーイスカウト大和2団、6団のバザーの折りには大変お世話になりました。お蔭様で増益となりました。スカウト活動費としては最高の出来でした来年もよろしく。

保田会員 ソフトボール大会、炉辺会合にも、体調を崩して参加することが出来ませんでした。次回には是非共参加いたします。